

【岩手日報社】

まんが「後藤新平」復刻版発刊

平成元年(1989)に発刊され、廃版になっていた「まんが岩手人物シリーズ『後藤新平』」(発行所:岩手日報社)が、4編のミニコラム《後藤新平こぼれ話》の追加など、装いを新たにして「復刻改訂版」として発刊されました。

【復刻版発刊打合せ】9月8日



後藤新平顕彰会高橋力副会長が、市内小中学校や放課後児童クラブ、図書館などで本を活用してもらいたいと市役所を訪問し、小沢昌記市長並びに田面木茂樹教育長に120冊を寄贈しました。また、今後、県内全ての小中学校や図書館等にも寄贈するとの話があり、市長は、「身近な所で生まれ、世界で活躍した人の業績を知ることは子ども達の励みになる」と応え、喜んで受け取りました。

この日、岩手日報社取締役総合メディア局松本利巧局長、同小山嘉朗次長、コンテンツ事業部の高橋宏和氏、佐藤俊男奥州支局長が来館し、「後藤新平が檢疫事業等で日本全国から注目されている今、廃版になっているマンガの復刻版を発刊したいこと、それに伴う監修を後藤新平記念館が請け負うこと、新たに『後藤新平こぼれ話』を挿入すること」等を確認しました。今年中の発刊を目標として、プロジェクトが動き出しました。

【まんが本贈呈式】11月26日



【まんが本発行】12月1日

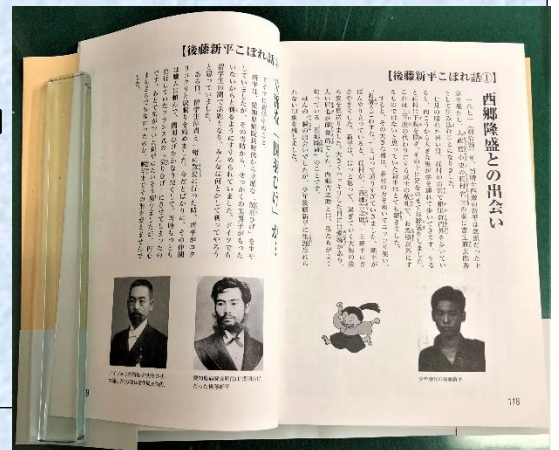
記念館職員総出の校正作業、並びに「こぼれ話」の原稿作成を急ピッチでこなし、ついに12月1日発行の日を迎えました。「○西郷隆盛との出会い○立派な「関羽ひげ」が・・・初飛行、その感想は?○感極まって泣き出す」の4つのエピソードも新たに加わりました。

コンテンツ事業部高橋宏和氏の書いた「帯」の言葉が素敵ですので、裏側も紹介します。

伝染病対策、台湾近代化、首都復興・・・

医師として政治家として誰よりも本気で広げた「大風呂敷」

1,100円(税込)好評発売中



【BS-TBS取材・放映】報道1930スペシャル「危機で問われるリーダーシップ」

12月4日の丸一日がかりの取材を終え、6日(日)、2時間のスペシャル番組が組まれ放映されました。リーダーとして、ドイツのメルケル首相、後藤新平、福田康夫元首相の3人が取り上げられました。後藤新平の会の「東京シンポ」で講師を務めたことのある五百旗頭氏がコメンテーターとして出演し、新平を熱く語ってくれました。

